

近 森 構 成 員

提 出 資 料

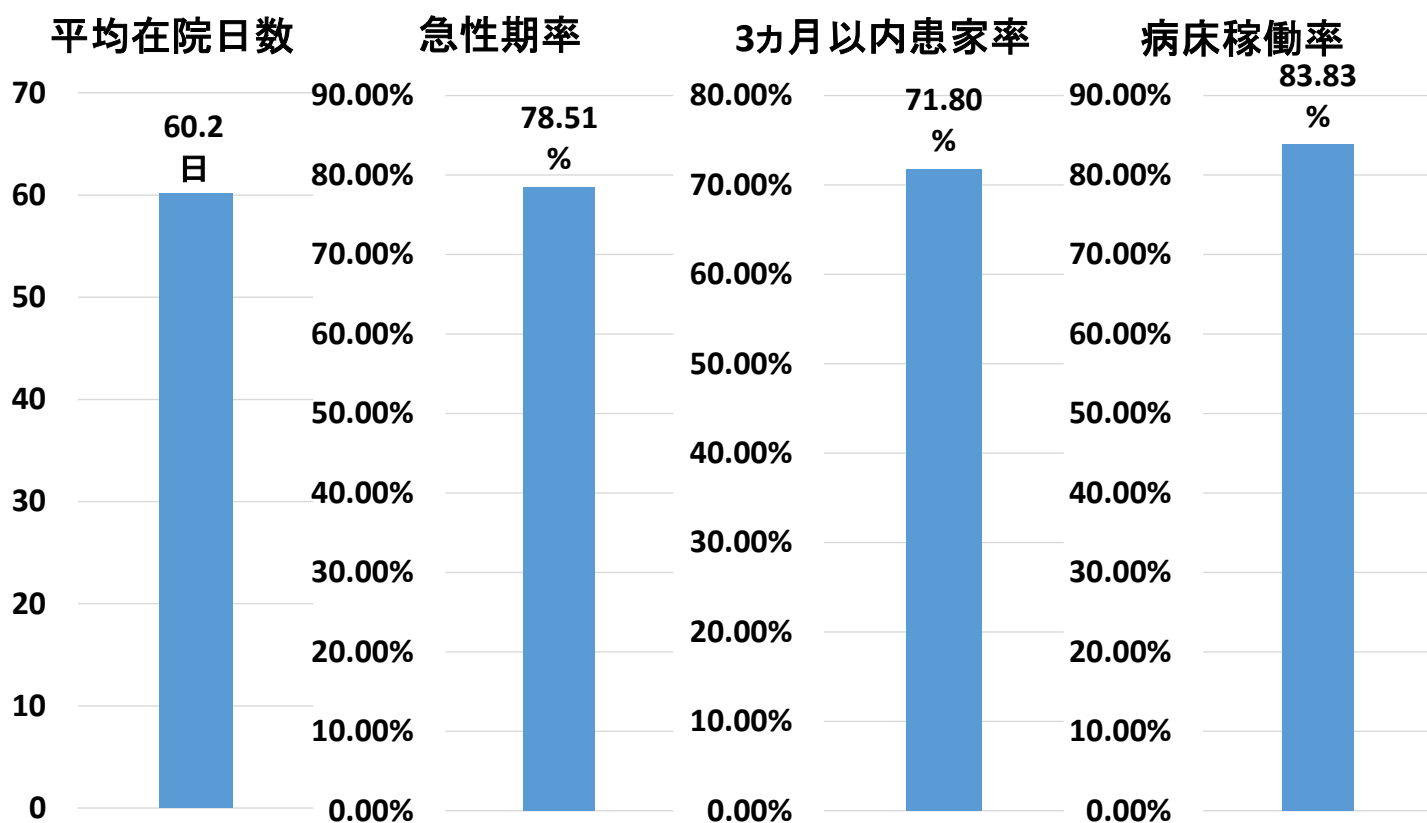
精神科領域における チーム医療の推進と連携

平成25年10月17日

社会医療法人近森会近森病院総合心療センター

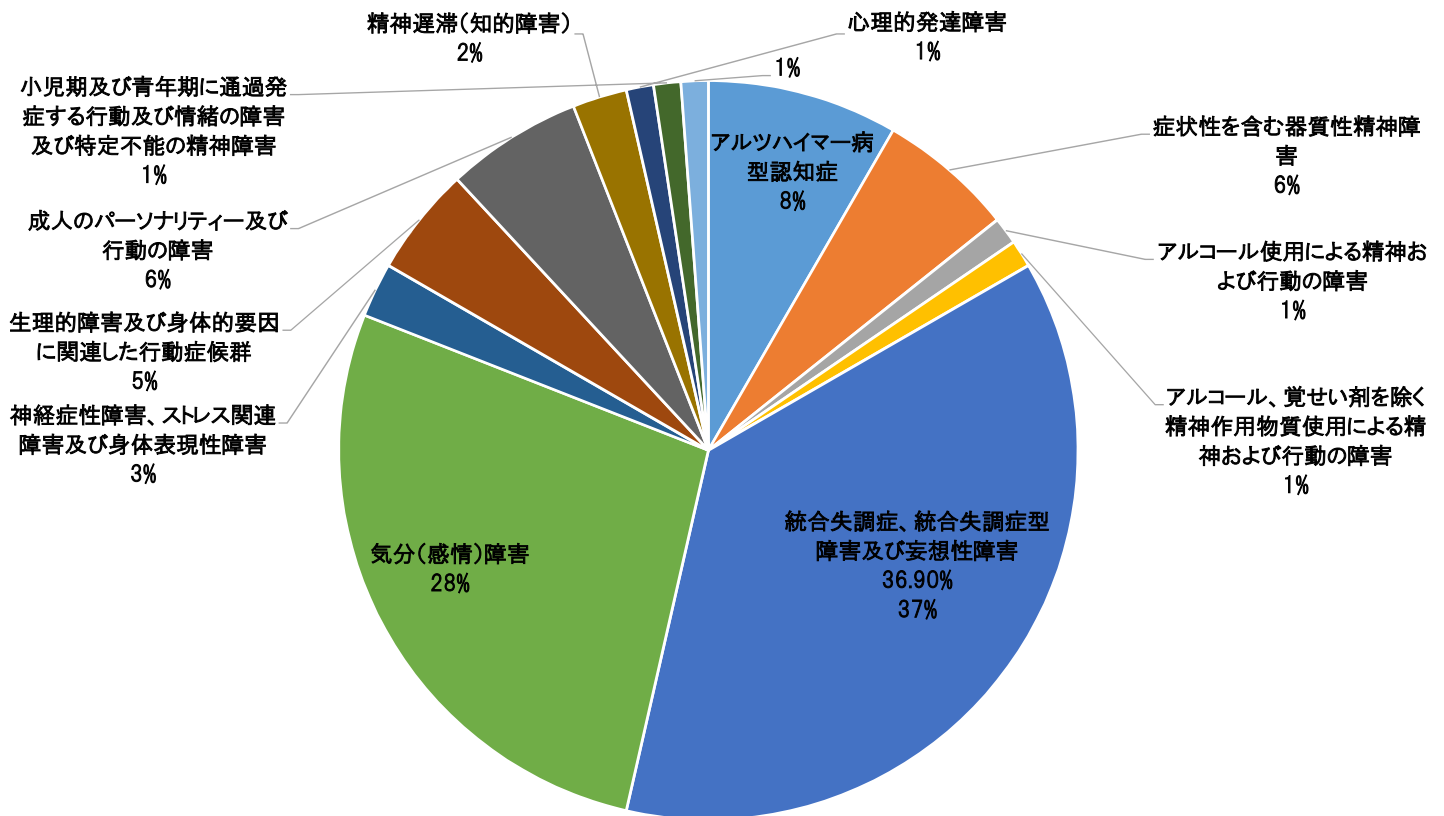
1

平成24年度 急性期病棟60床の実績



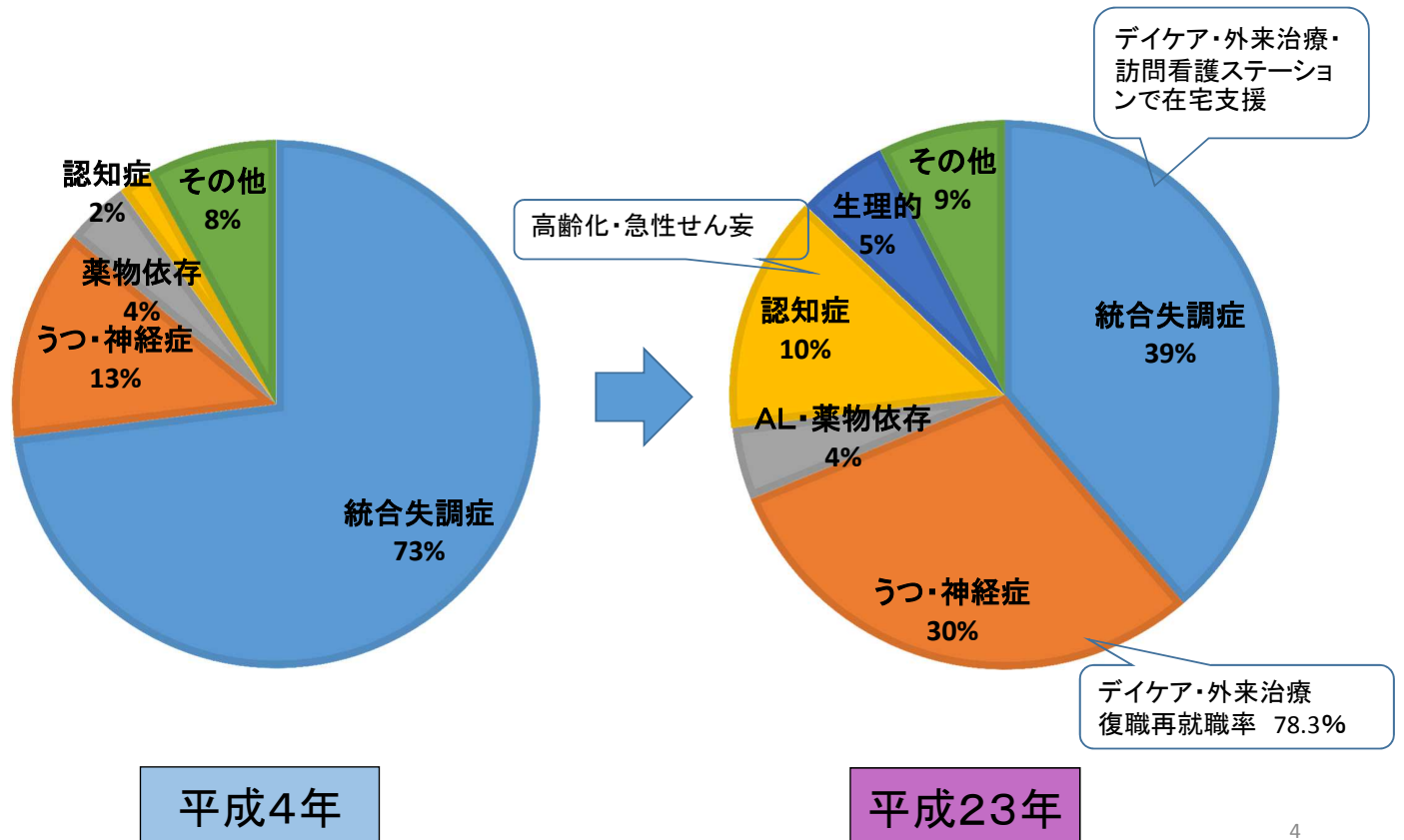
2

平成25年度 急性期病棟60床 630調査



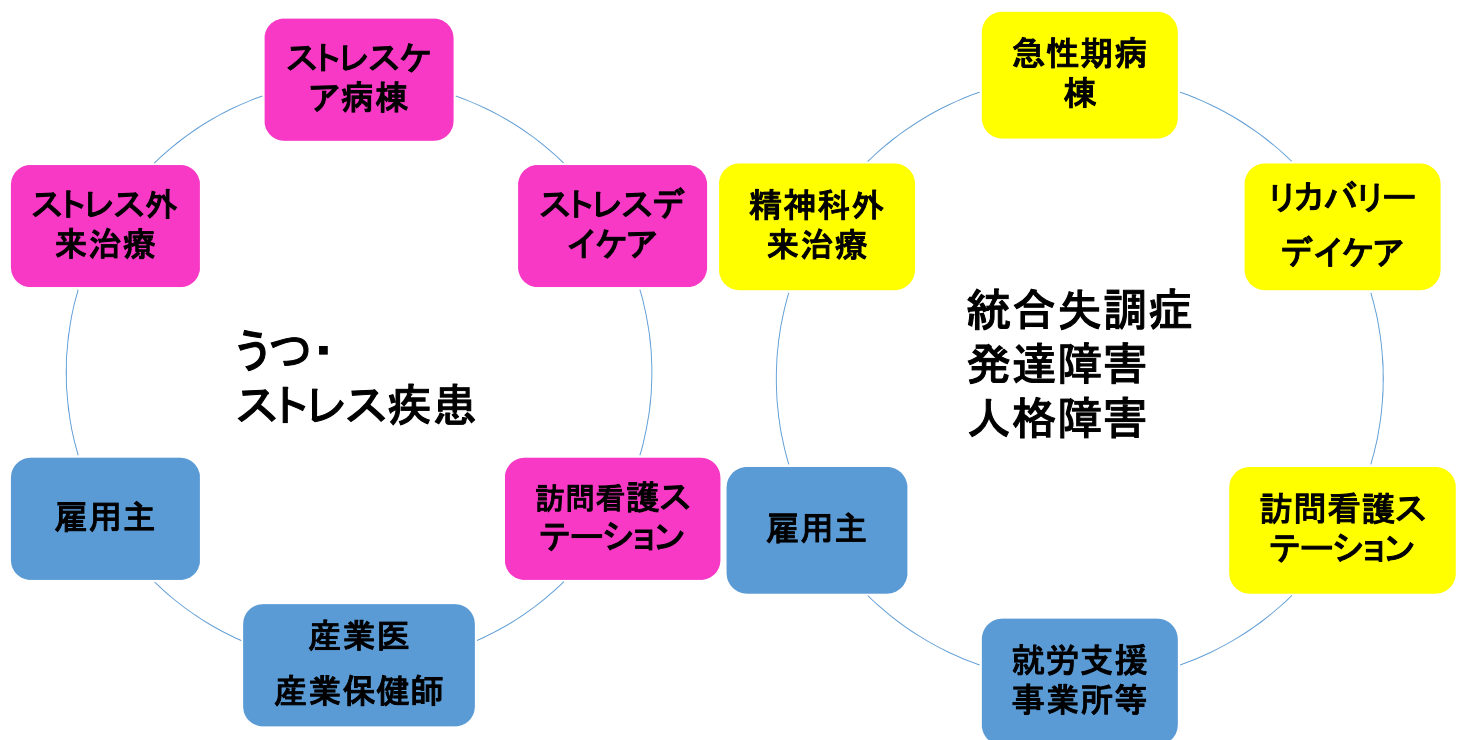
3

入院患者の疾患の推移 平成4年と23年の比較



4

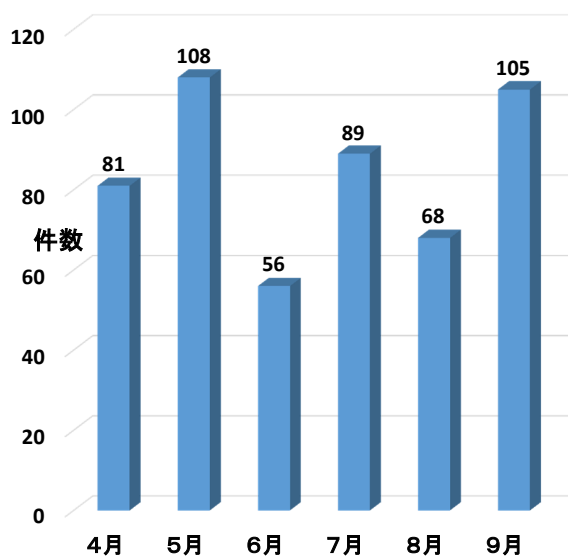
就労支援連携システム



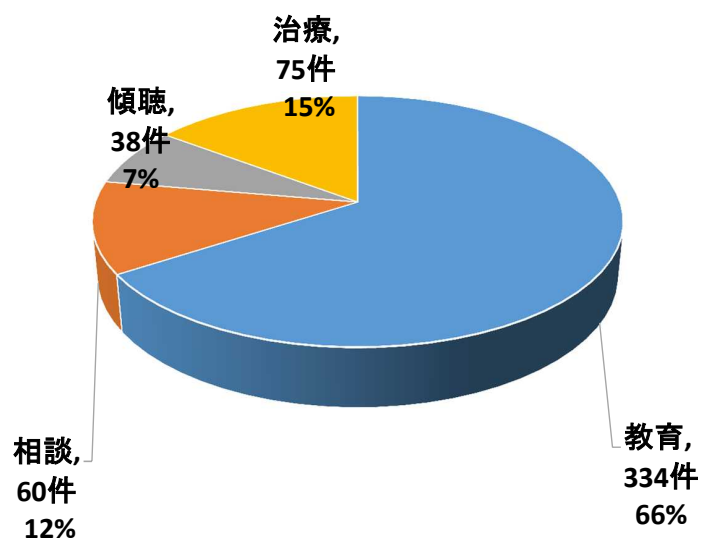
5

平成24年度時間外電話対応；教育・傾聴・治療の機能

時間外電話対応数

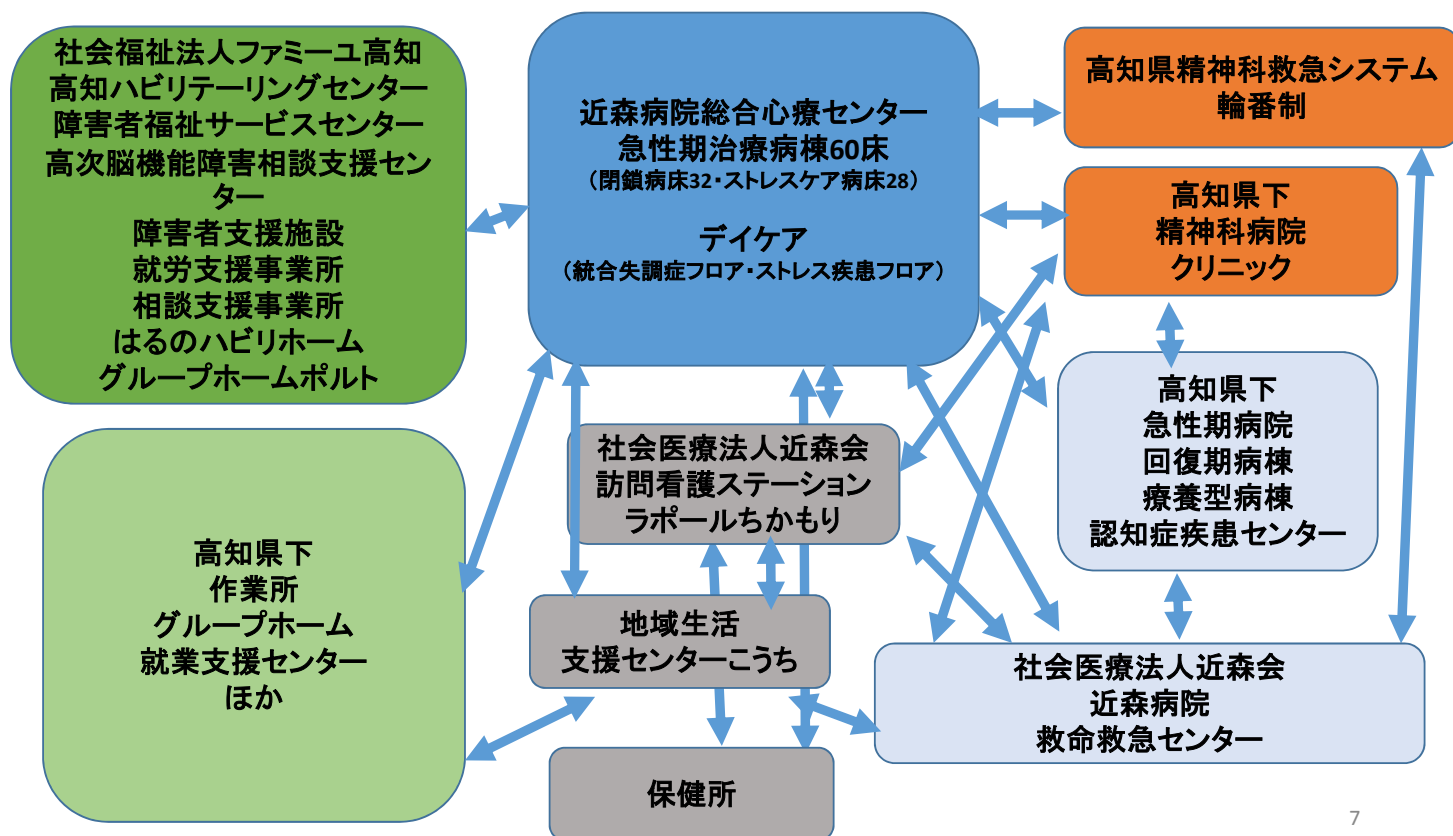


時間外電話対応割合



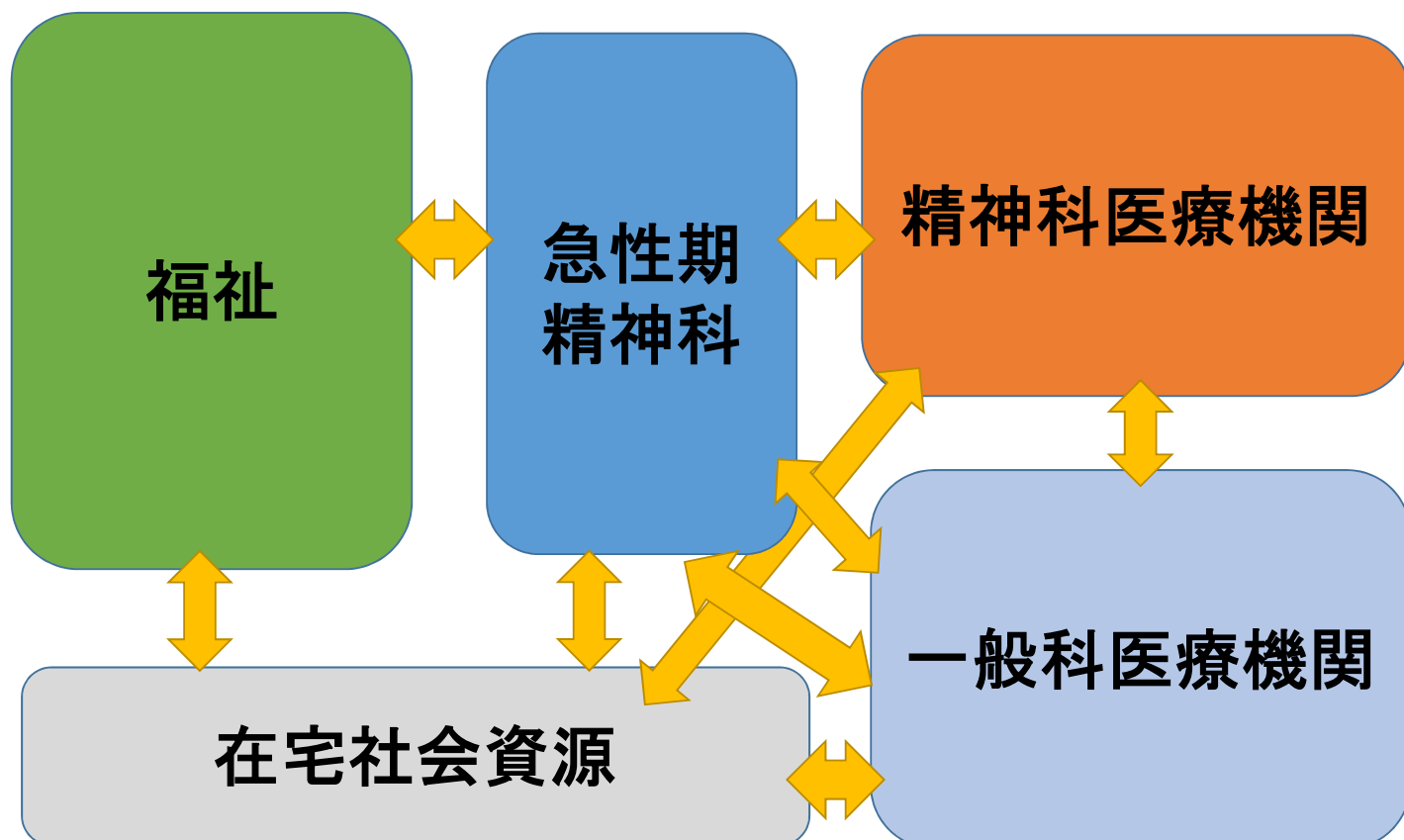
* 精神障害者の在宅生活および就労の維持と向上・病棟看護師のアセスメント能力の向上が図れる

近森病院総合心療センターにおける福祉と医療の連携



7

その人らしさを支援する 福祉と医療の連携
精神障害者の社会復帰・就労支援・質の高い在宅生活を促進するために



8

近森病院総合心療センター人的配置

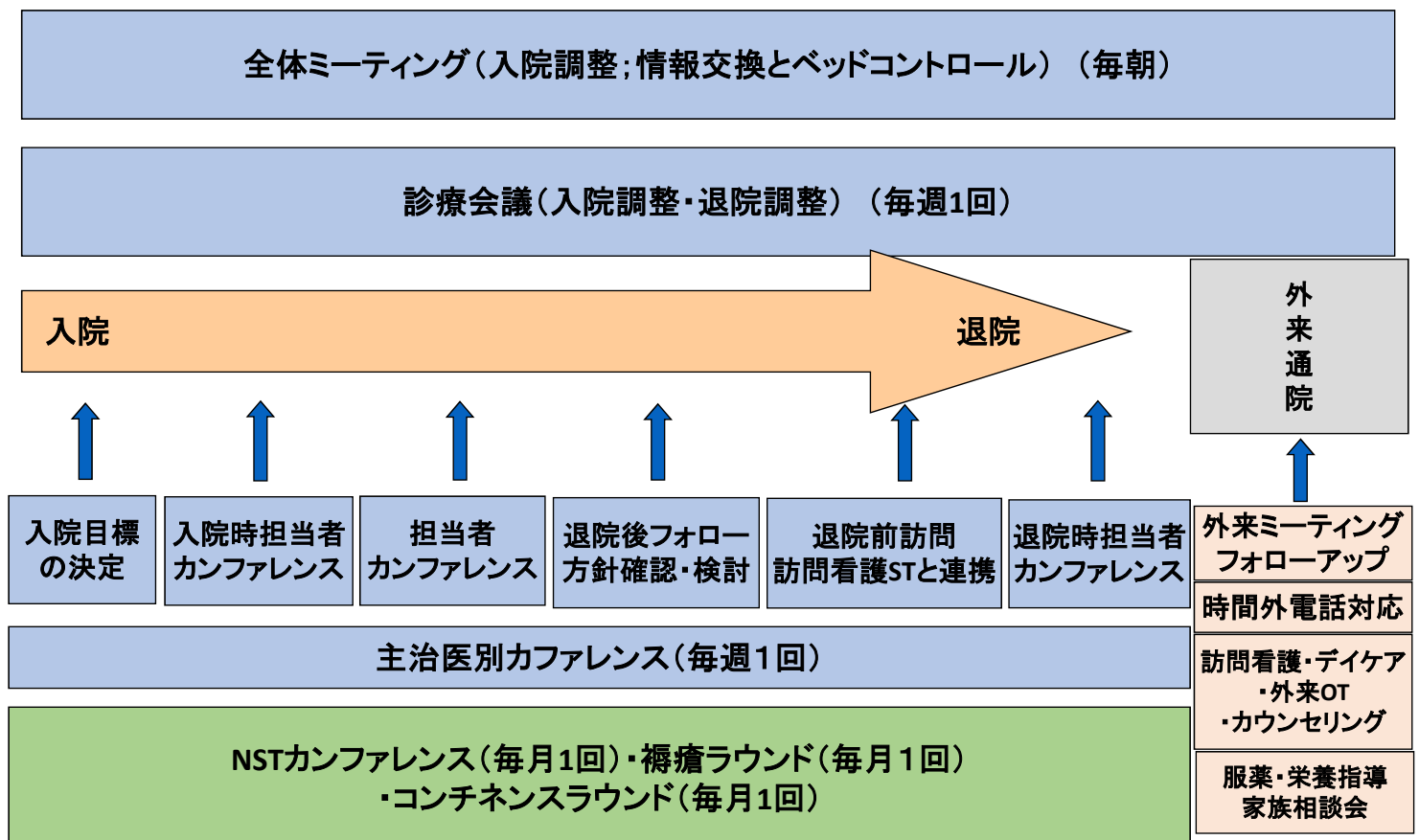
H25・10・1

	急性期60床 閉鎖32床・開放 28床	外来 精神科・ ストレス	デイケア ストレス疾患 統合失調症 & 発達障害	訪問看 護ST	地域生活支援 センター	合計
医師	5名		1名			6名
看護	36名 (保健師8名)	3名 (保健師 1名)	3名	5名 (保健師 4名)		47名 (保健師 13名)
作業療法士	4名		5名			9名
薬剤師	1名					1 + α 名
管理栄養士	2名					2名
精神保健福祉士	3名		1名		4名	8名
臨床心理士	1名		1名			2名
医療事務	1名	4名				5名

* 全職員BLS(ICLS)・CVPPP・SST受講

9

診療システム



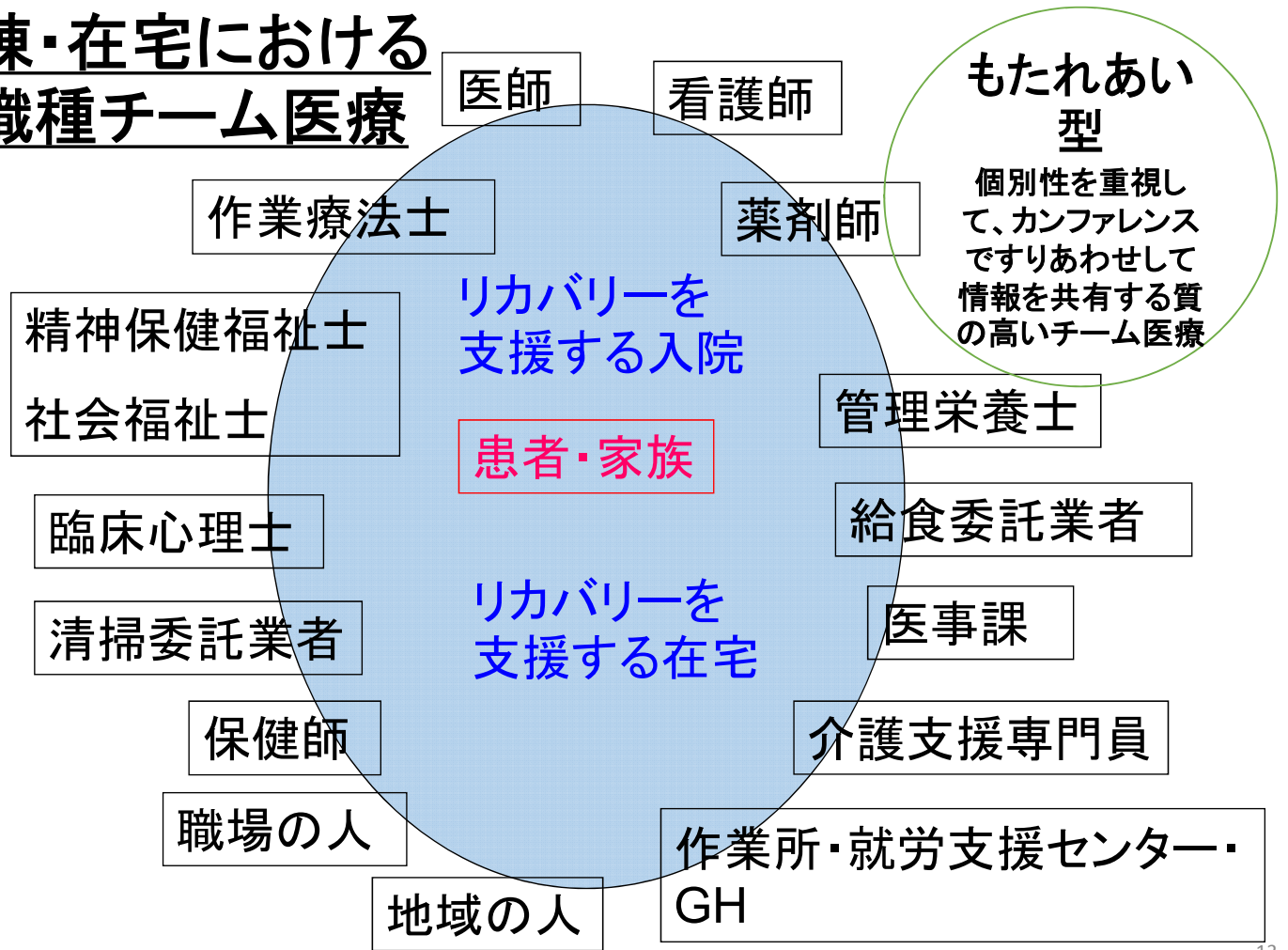
朝の全体ミーティング



診療会議

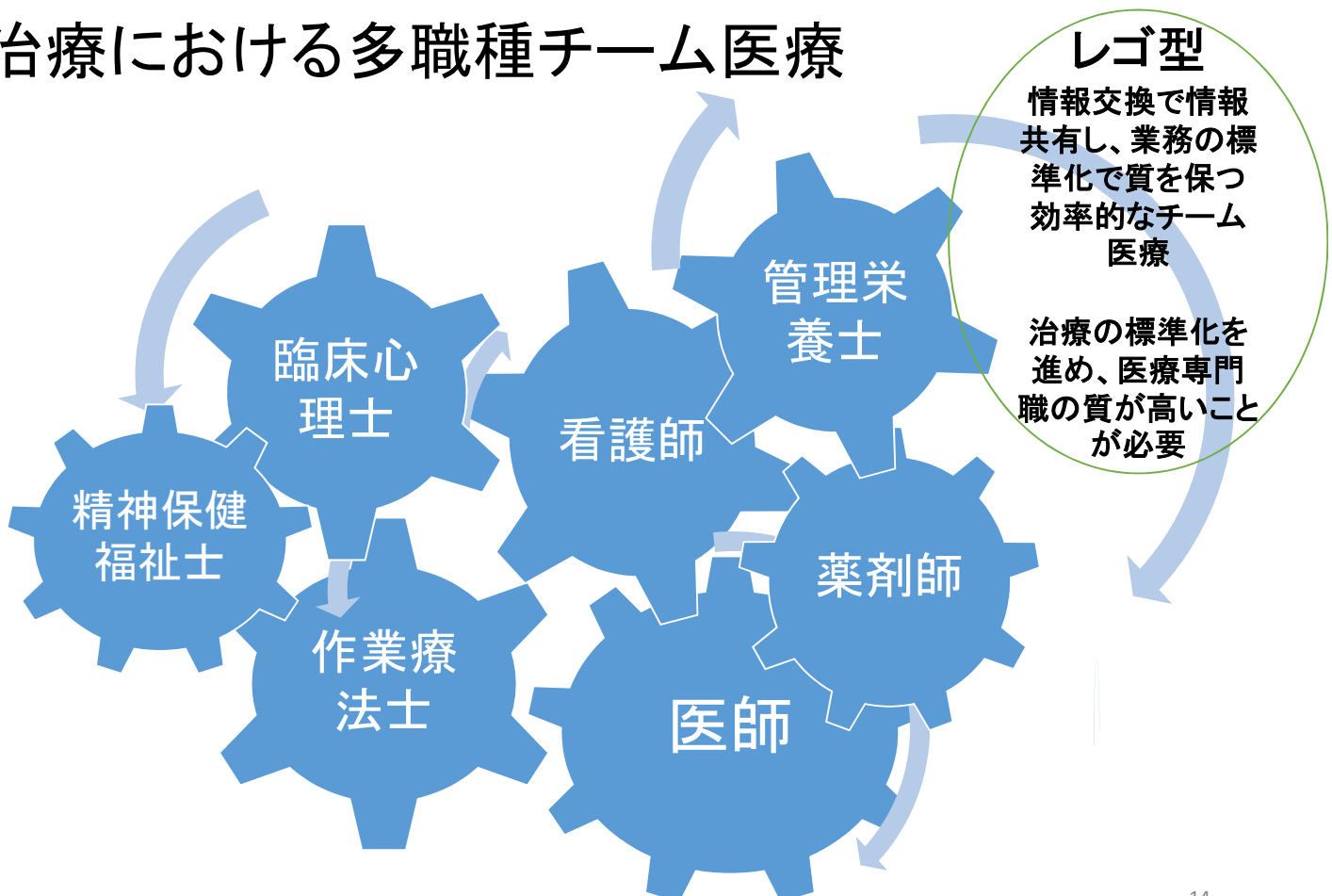


病棟・在宅における 多職種チーム医療



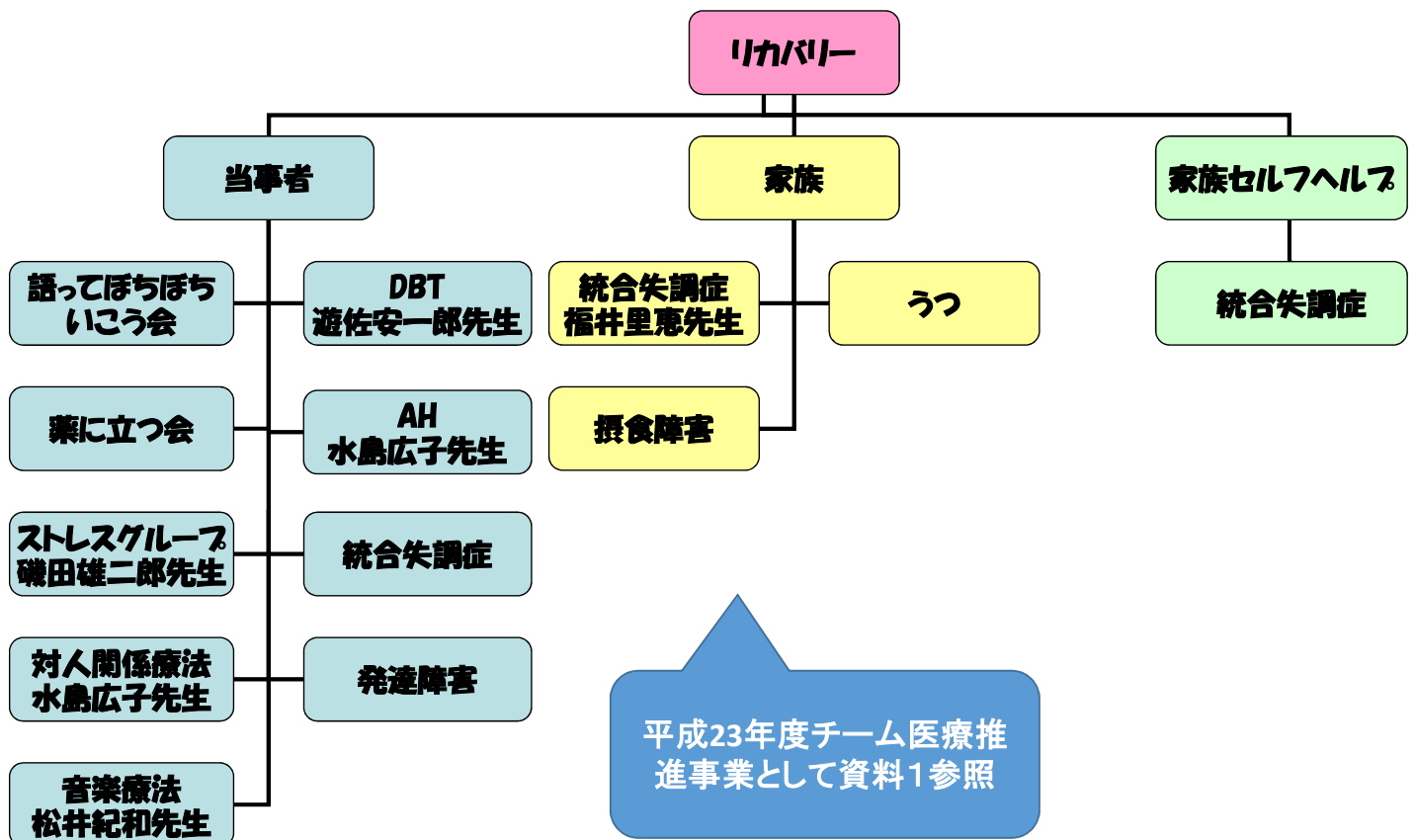
13

治療における多職種チーム医療



14

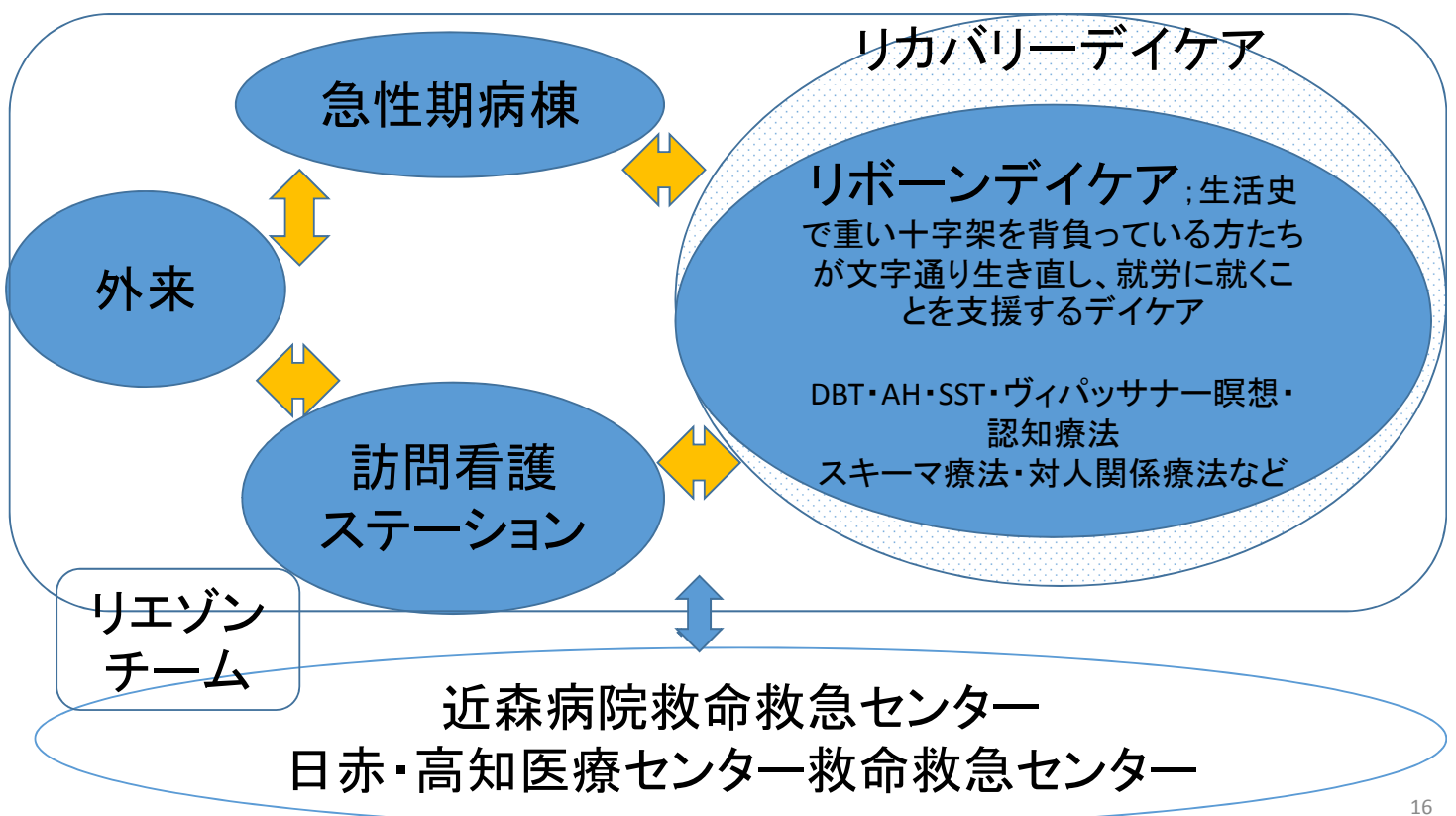
治療グループ体制図



15

自殺予防センター体制図

大きな障害や度重なる挫折体験で心に大きな傷を負っている方に対するリカバリーの視点に立った長期的な支援



16

資料 1

チーム医療実証事業報告書＜グループ構成＞

	担当スタッフ／ 講師	対象者／対象疾患／治療目的	開催頻度・実施回数 グループ形態	内容
語ってぼちぼ ちいこう会	・医師 ・作業療法士 ・臨床心理士	＜対象者＞ パティオ卒業者 ＜目的＞ 復職後あるいは再就職後の就労継続支援	月 1 回 120 分×12 回 (第 1 水曜日 18:00～20:00) オープン	1、復職後・再就職後の問題に対する、対処技能の向上 2、復職後・再就職後の仕事面における現状の振り返り 3、ピュアカウンセリング
薬にたつ会	・看護師 ・薬剤師 ・作業療法士	＜対象者＞ 当院入院患者、外来患者 ＜目的＞ 重荷薬に関する心理教育を行い、アドヒア ランスの向上を図る	週 1 回 80 分 月 2 クール 合計 19 クール (毎週水曜日 14:30－15:50) クローズド (4～8 名)	1. 治療（薬について）の心理教育 2. 再発防止についての心理教育 3. 入院中～外来の療養に関する情報提供
ストレスケア グループ	・ 作業療法士 ・ 看護師 ・ 臨床心理士	＜対象者＞ 当院ストレスケア病棟に入院中の患者で 回復期過程であるもの ＜目的＞ ストレスについて心理教育、治療 Gr への 橋渡しのための査定	週 1 回 90 分 1 クール全 8 回× 4 全 32 回実施 クローズド (途中参加可能)	1、ストレスについて、セルフモニタリング 2、認知行動療法 3、アテチューディナル・ヒーリング 4、対人関係を見直す (エコグラム/対人関係実践) 5、マインドフルネススキル 6、苦悩耐性スキル 7、感情調整スキル

資料 1

	担当スタッフ／ 講師	対象者／対象疾患／治療目的	開催頻度・実施回数 グループ形態	内容
ハッピーター ン：感情調節 困難患者のス キルアップグ ループ	・看護師 ・メンタルダイケ ア作業療法士	<対象> BPD などの感情調節困難な患者 <目的> 生きずらさからくる自己破滅行動を減少 させ、その人がその人らしく安心して生活 できるようにスキルを学ぶ	週 1 回 120 分 1 クール 24 回 プレミーティング 20 分 アフターミーティング 30 分 個人面談 1 / W30 分 ・クローズド ・個人面接	<グループでの実施内容> (1 回の内容) 前半：宿題報告 後半：スキルについての説明と検討、 宿題説明 (1 クールの内容) 1、対人関係スキル 2、感情調節スキル 3、苦悩耐性スキル ※各スキルアップ項目の間にマインド フルネススキルについて実施
AH (アット・ホ ーム：アティ テューディナ ルヒーリング グループ)	・看護師 ・精神保健福祉士 ・作業療法士	<対象> 感情調節困難な患者 <目的> 自身の感情への気づきを促す。 他グループ (DBT など) への導入	週 1 回 90 分 1 クール 4~6 回×5 (毎週月曜日 13:00-15:00)	水島広子先生のワークショップを受講したスタッフが 中心となり、AH (アティテューディナル・ヒーリング) についてのレクチャー及び AH 体験を実施
ステップアッ プ (統合失調症 心理教育グル ープ)	・医師 ・作業療法士 ・看護師 ・薬剤師	<対象> ダイケア所属の統合失調症の方 <目的> 統合失調症の方への心理教育	週 1 回 60 分 1 クール 6 回×3 クローズド	1、オリエンテーション 2、病気について 3、薬について (作用・副作用) 4、再発について 5、ストレスについて 6、今後の生活について

資料 1

	担当スタッフ／ 講師	対象者／対象疾患／治療目的	開催頻度・実施回数 グループ形態	内容
自己表現教室 (発達障害の 心理教育グル ープ)	・作業療法士 ・看護師 ・精神保健福祉士	<対象> 発達障害の方 <目的> 心理教育、言語的交流からの気づき	週 1 回 90 分 1 クール 10 回× 3 クローズド	1、ベーシックグループ 心理教育中心、自らに気づくための作業 2、フォローアップグループ グループワーク中心 問題解決
対人関係療法 グループ	・臨床心理士 ・作業療法士 ・看護師	<対象> 摂食障害患者 <目的> 対人関係の改善による症状の軽減	1 クール 16 回 ・クローズド ・個人面接	1、患者を取り巻く対人関係の確認 2、家族の交流パターンの確認 3、周囲との交流を促す課題の設定 4、フリートーク
統合失調家族 相談会グルー プ	・看護師 ・精神保健福祉士 ・管理栄養士	<対象> 統合失調症患者の家族 <目的> 家族同士の情報共有の場、支えあいの場、 対処方法を学ぶ場として定期的な場の提 供	月 1 回 150 分 1 クール 6 回(8～1 月) (水曜日 13:30～16:00) セミクローズド	1、病気・薬物療法について 2、社会資源について 3、リハビリテーションについて 4、家族と患者との関わりについて 5、家族会 OB の体験談 6、講義総まとめ
統合失調症家 族相談会フォ ローアップの 会	・精神保健福祉士 ・看護師	<対象> 家族相談会卒業者 <目的> ・家族相談会終了後の定期的なフォローの 場の提供 ・家族同士が集える場の構築	毎月 1 回 90 分 1 クール 5 回 (7～11 月) (火曜日 13:00～15:00) セミクローズド	1、作業所、グループホーム、地域で支えることについ での説明。 2、セルフヘルプグループに向けての働きかけ

資料 1

	担当スタッフ／ 講師	対象者／対象疾患／治療目的	開催頻度・実施回数 グループ形態	内容
摂食障害家族 相談会グループ	・医師 ・管理栄養士 ・看護師 ・精神保健福祉士	<対象> 摂食障害患者の家族 <目的> ・家族に摂食障害への正しい理解を促すと共に、他家族と体験を共感してもらい、精神的ゆとりを得ることを支援する。 ・家族が患者の治療に希望を持ち前向きに取り組むことができるよう支援する	毎月 1 回 120 分 1 クール 4 回×1~3 クール ※対象者の希望にあわせて 実施回数変更 (月曜日 16:00~18:00) クローズド	1、病気とその経過について 2、治療について 3、家族のあり方について